



## (早期償還条項付) 野村ハイベータ日本株1903 急回復する日本株の今後の見通し

### ポイント



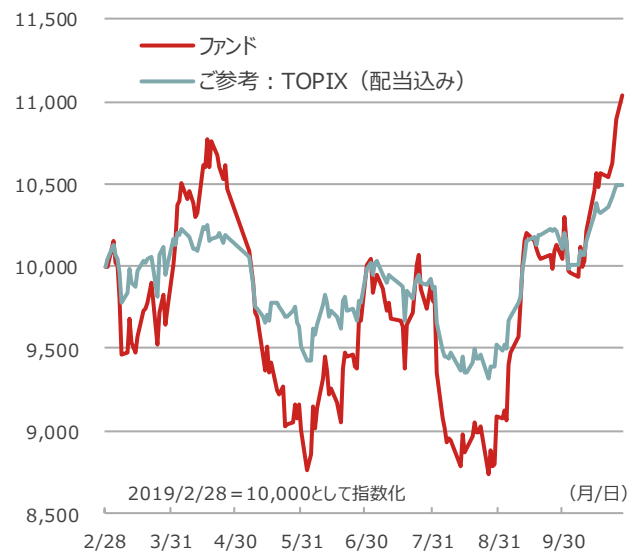
1. ファンドのパフォーマンスは9月以降に急回復
2. 世界景気の回復を先取りする日本株
3. 日本株のバリュエーションに割高感なく、更に上値を期待する

## 1. ファンドのパフォーマンスは9月以降に急回復

「(早期償還条項付) 野村ハイベータ日本株1903」(以下、当ファンド)の基準価額は、設定後しばらくは低迷し、一時は9,000円を割り込む局面もありました。しかし、9月以降に急回復して、2019年10月28日現在で11,043円となり、設定来(設定日前日の2019年2月28日～)のパフォーマンスは+10.4%となりました。同期間のTOPIX(配当込み)(+4.9%)を上回って推移しています。

当ファンドの設定直後は、米中通商問題の長期化などを要因に日本企業の業績が製造業中心に下振れ傾向となったため、日本株は低調な相場が続きました。しかし、夏以降は半導体産業などに明るい材料が出始めたことで底入れし、9月以降は米中通商問題の進展期待などやや明るめのニュースが出始める中で上昇基調を強め、足元は年初来高値を更新するなど、勢いが出てきました。

### 基準価額とTOPIX(東証株価指数)の推移



	設定来 (3/1～10/28)
ファンド	+10.4%
TOPIX	+4.9%

期間：2019年2月28日(ファンド設定日前日)～2019年10月28日、日次  
上記期間において、分配金実績はありません。換金時の費用、税金等は考慮していません。

(出所) Bloombergのデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

<当資料で利用した市場指数について>

東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「(株)東京証券取引所」という。)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。(株)東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

## 2. 世界景気の回復を先取りする日本株

右上図のように、日本株はOECD（経済協力開発機構）世界景気先行指数への連動性が高い状態が続いています。主要国の中では日本株は製造業の比率が高く、しかも、主要な製造業は活躍の場をグローバルにどんどん広げているほか、2000年以降は、年が進むにしたがって、他産業でもグローバルに活躍する企業が増えてきています。こうした要因により、日本株は世界景気の影響を強く受けるようになってきました。

そして、その景気先行指数も、循環的には過去のボトム水準に達しており（リーマンショック時を除く）、間もなく「底入れ」する可能性が高いと見ており、日本株はそうした回復を先取りして上昇しているものと考えています。

### OECD世界景気先行指数とTOPIXの推移



期間：（TOPIX）1999年12月～2019年10月、月次（10月は28日）  
（景気先行指数）1999年12月～2019年8月、月次

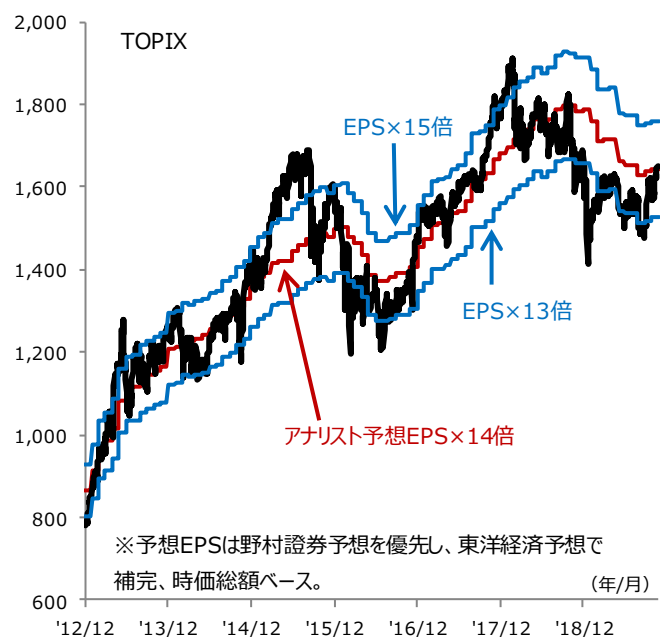
（出所）Bloombergデータを基に野村アセットマネジメント作成

## 3. 日本株のバリュエーションに割高感なく、更に上値を期待する

日本株のバリュエーションに目を転じますと、右下図にあるように、アベノミクス相場におけるTOPIXは、EPS（1株当たり利益）の13～15倍程度、つまりはPER（株価収益率）13～15倍程度の範囲内で動いてきました。そして、この間の平均的なPER（株価収益率）水準は14倍程度でした。足元のTOPIXの水準（1,650ポイント程度）はPER14倍程度であり、割高感は見られません。

現状は平均的なPER水準ですが、今後の世界景気が回復に向かえば、これまでのレンジの上の方に当たるPER15倍相当の1,760ポイント程度を目指すものと想定しています。

### 企業業績とTOPIXの推移



※予想EPSは野村証券予想を優先し、東洋経済予想で補完、時価総額ベース。

期間：2012年12月3日～2019年10月28日、日次

（出所）Quickや野村証券データ等を基に野村アセットマネジメント作成

———上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

「（早期償還条項付）野村ハイベータ日本株1903」

## ファンドの運用状況

### 業種別配分

2019年9月30日現在

業種	純資産比
機械	31.3%
電気機器	28.6%
輸送用機器	9.0%
化学	4.6%
銀行業	4.4%
その他の業種	20.4%
その他の資産	1.6%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類によります。

### 特性値

2019年9月30日現在

	ファンド	(参考) TOPIX
実績PBR	1.1倍	1.2倍
予想PER	12.6倍	13.8倍
予想配当利回り	2.3%	2.5%
ベータ値	1.49	-

- ・予想配当利回りは、東洋経済新報社予想。
- ・実績PBR、予想PER、予想配当利回りは、株式の組入比率で加重平均した数値。
- ・ベータ値は、BARRA日本株モデルの推定ベータです。
- ・TOPIXは、ベンチマークではありません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として、野村アセットマネジメントが作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【ご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。